



深田貴美子 《いっぽいっぽ通信》



30年後も
安心の
武蔵野!

「誰ひとり取り残さず」を 武蔵野市から実現する!



「誰ひとり取り残さず」持続可能な開発目標=SDGs(Sustainable Development Goals)

通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを楽しむことができるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。

[出典:持続可能な開発目標/国連開発計画より]

今年、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、連日40度に迫る酷暑が続き、9月に北海道胆振東部地震、10月の台風24号の被害と、予想を遥かに超える災害に見舞われ、水道をはじめ様々なインフラの脆弱性が明らかとなりました。

「地球温暖化防止」は、地球規模の喫緊の課題です。AIやIoTなどを駆使し、「ビックデータ」を活用し、「想定外を想定」し、対策・解決することも必要です。

もちろん、私たちの身近な生活課題においても、これから20年、30年後に予想されるリスクや課題を回避し、解決しておくことも必要です。

これからも「安心の武蔵野=持続可能な武蔵野」であるために、皆様のご理解とご判断となる情報提供と、提言をお届けします。

武蔵野市議会議員 深田貴美子



ずっと安心! 医療・福祉連携の団地ライフを 深田貴美子が提言・実現!

平成29年3月の議会において、顕著に高齢化・空き室化が進む公団住宅に対し、UR都市再生機構が進める「地域医療福祉拠点化」事業導入を提言しました。その後の調整で、URと武蔵野市が、安心のまちづくり「包括連携協定」を結ぶことができました!

地域医療福祉拠点化とは、だれもが安心して暮らせる24時間の医療・福祉連携の団地ライフづくりです。

もともと、子育てや夏祭りなど、活発な自治会活動が伝統の「パークタウン様」と「サンヴァリエ様」です。

私も幼少期に公団住宅で暮らし、団地コミュニティの中で育ちました。

ご近所にあがりこんだり、御夕飯のおかずをいただいたり、お泊りしたり、お祭り・運動会を楽しみました。

親しんだ・住み慣れたこの団地でいつまでも——

夢は叶えるために努力するもの!

実現に向けて、引き続き努めてまいります!



みなさんのご意見、ご要望を
お聞かせください。

メール ✉ ippo-ippo@fukakimi.net
または電話 ☎ 090-8025-4457まで

武蔵野の医療と福祉・介護・看護を考える!



これで安心!

お医者様の往診はもちろん!



安心の「地域医療福祉拠点」を実現したい!

がんや難病のご本人と家族の暮らしの保健室「マギーズ東京」

7月23日(月)、江東区豊洲にある「マギーズ東京」(運営:認定NPO法人マギーズ東京)を視察させていただきました。がんになった方、またその家族や友人など、戸惑いや悲しみを話し、自分の力を取り戻すサポート拠点です。英国の「マギーズセンター」の日本版です。専門の看護師・心理士の方々が、親身に、丁寧に、お話を聞いてくださり、必要な情報を伝え、病状だけでなく、心と暮らしの支援をしてくれます。

2016年にクラウドファンディングなどの寄付に助けられて、江東区豊洲の地に、開設されました。年間6000人が訪れています。

代表の秋山正子さん(株式会社ケアーズ:看護師)のお話を伺いました。「もはや、がんは、告知される病気となったが、やはり、告知された患者は、その重さに打ちのめされる。また、小さな子どもがいる母親の場合、親の介護もある、告知をどう受け止め、子どもにどう話をしたらよいか、暮らしはどうなるのかなど、医師には相談できないことが、たくさんある」——地域包括ケアシステムの隙間に、こうした「暮らしの保健室」が必要とこのことではないかとのお話しに、深く心動かされました。

雑誌の記事で知り、設立の趣旨に共感し、かねてより視察にうかがいたかった場所です。ようやく夢が叶いました。

武蔵野版「マギーズ東京」をと、心に決めました。



便秘・排便をしっかりと解決! 看護付き小規模多機能介護施設「坂町ミモザの家」



8月30日(木)に、新宿区四谷坂町にある看護小規模多機能型居宅介護サービス「坂町ミモザの家」(運営:株式会社ケアーズ白十字訪問看護ステーション)を視察させていただきました。

地域包括ケアは、親しんだまち、住み慣れたわが家での「在宅介護・看護」が基本です。

看取りまでの道のりを、ご本人が尊厳を持って暮らせること—家族が心強く・納得できる介護・看護のサポートを—

「坂町ミモザの家」は、家族と一緒に温かく、力強く伴走していました。例えば、胃ろうの方のお食事、3回に2回は経口でとれるように、トロトロのお食事を念入りに作ります。また、便秘などの排泄の困難も、看護師さんが、丁寧にケアしてくださいます。介護度5の方がほとんどのご利用者ですが、ご本人が、自信をつけて帰宅されます。その姿を見て、ご家族様がどれだけ心強く励まされることでしょう。

「通ってよし」「泊まってよし」「わが家でよし」とパンフレットにある言葉が、じんと心に染み渡りました。

経営採算が取れないため、武蔵野市ではなかなか整備が進まない看護小規模多機能型居宅サービス施設です。が、利用者にとっては、高齢者入所施設より大変経済的な介護が実現します。

医師の訪問診療もセットアップすれば、さらに安心のケアが実現! 武蔵野の地域包括ケア=「地域リハビリテーション」の実現! 武蔵野版「坂町ミモザの家」を、必ず実現すると心に誓いました。



緑町の無電柱化で「動脈道路」を守れ!



市役所前の市道17号線は、桜並木は美しいですが、災害の際の万が一の倒木による「裂断線」が心配です。都立中央公園は、災害時の「防災拠点」として、自衛隊の拠点となります。電線地中化は急務です。新クリーンセンターのコジェネ発電機能も、活かすことができます。

緑町1丁目「簡易宿泊所問題」



2020年オリパラの観光客宿泊所として、旅館業法に沿い、「簡易宿泊所」が開設されるそうです。地元では、安全管理に不安の声が。民泊対策と共に、武蔵野市の課題です。

夢の実現

ひつじ食堂 みんな de ごはん

始めました!

今期のテーマは、「食育」です。子どもを応援したい事業者さんと、託児活動をしてきた団体の方々との思いから生まれた居場所です。子どもだけでなく、だれでも一人で食べるよりみんなで食べるほうがおいしいよねが、コンセプトです。



場所:三鷹駅北口キッチン「男の晩ごはん」(中町新道一つ目の交差点)

日時:毎月第2土曜日午後3時から6時まで

参加費:小学生100円、中学生200円、同伴者300円



みなさんのご意見をお聞かせください。

http://www.fukad kimiko.info

facebook www.facebook.com/kimiko.fukada

保護ネコの「きーちゃん」。今年で3歳になりました! 元気いっぱい育っています! 大切な命を守りたい。

